

平成22年度 第1回地域木造住宅市場活性化推進事業の応募概況 及び同事業審査委員会委員からの主な意見等

今回の地域木造住宅市場活性化推進事業への応募の概況と審査委員会において審査委員から出された意見等について、次回の応募に当たって参考としていただけるよう公表致します。

1. 応募概況及び審査経緯

- 平成22年3月8日から4月16日まで公募を行い、128件の応募を得た。
- 事業の採択は、学識経験者により構成される地域木造住宅市場活性化推進事業審査委員会における評価に基づいて決定した。
- 審査に当たっては、募集要領において示されている①地域木造住宅市場の活性化への効果、②事業の新規性・先導性、③事業の実現可能性の3つの視点に基づき総合的に評価を行った。

2. 審査委員からの主な意見等

- 提案内容が多様化してきている。このことは様々な視点で地域の木造住宅市場の活性化に取り組むという動きが出てきているということで、評価できる。
- 応募者が本来、経常的に行っている事業、行うべきと考えられる事業内容の提案については、応募者が本来、自ら負担すべきと考えられるため、採択の対象としない。
- 展示住宅の整備を行う事業については、他事業も含めて、これまで相当量の事業に対して助成されていることから、普及推進の取組に活用することと併せて、他の取組にも活用するような、特に助成すべきものについてのみ採択している。
- 採択となった事例については、不採択の事業者だけでなく、他の事業者においても取組の参考にして欲しい。

以 上